

その他の教育研究業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	10～11	当幼稚園内の園庭にて、椅子に上り電動のこぎりを持ち、植木の枝の伐採作業をしていたときに、バランスを崩し椅子から落下し、左側の鎖骨を骨折した（高さ約2m）。	68	50～99
1	15～16	児童のお迎え後、施設2階のトイレを使用中、玄関チャイムが鳴った為、焦って階段を下りたところ、下から二段目で踏み外し、右足の小指を下にして、ねじれたような形で足を着いてしまった。痛みあり様子をみたが、痛みが引かず、後日に骨折と診断された。	53	—
1	10～11	相談室の出入口上部の窓付近にて、児童が乗せたであろう紙片をオルガン用の椅子に乗り取ろうとしたが、なかったため椅子から後ろ向きに降りようとして、左足を床に着こうとしたがバランスを崩して落ち、床に尻もちをついた際に第1腰椎を圧迫骨折した。	56	—
1	12～13	園内の2階から1階へ下りる階段で給食の片付けの為、お盆に食器などをのせ降りていたところ、足を滑らせ転倒し右足首を捻挫した。	42	10～29
2	10～11	2階体育館で研究発表会会場に貼る垂れ幕を舞台左側壁に付ける作業の際に、床にひな壇を前後に2つ置き、その上に脚立を広げはしごのように立て掛けていた。共同作業者に脚立を押さえてもらい、脚立の上から3段目程度の位置で幕を貼ろうとしたところ、バランスを崩したため自ら脚立から飛び降りた。床に足から着地したと同時に両手をついたが両足に痛みを感じて立てない状態となった。そのため救急車を要請し病院へ搬送しそのまま即時入院となった。	63	—
2	16～17	敷地内で雨樋の点検をしている時に、のぼった脚立の4本ある足のうち2本の置き場が狭く、バランスを崩した際、脚立が傾き、落下し、下にあった溝の底に右	67	30～49

		足かかたとを強打し、負傷した。		
2	10~11	施設内の樹木の枝を剪定するために、建物に立て掛けた脚立にのり作業をしていた時に、踏もうとしたステップに足を正常にのせることができなかった。脚立は持ってもらっていたが、重心が傾き、脚立保持が維持できず転倒した際の衝撃で下肢を負傷した。	67	30~ 49
2	9~10	発掘調査現場で遺構保護の養生作業の不織布のロールを敷く作業中に深さ1.2m位の遺構に落ち中の礫に膝を強打した。	65	—
2	11~12	2階職員室で脚立に乗って冷蔵庫の上および背後のタイル壁の拭き掃除をしていた際、脚立が滑ってバランスを崩し、脚立ごと床に転倒し、右全身を打撲、右手をついた為、右手首を骨折した。	64	—
2	8~9	就業時間前に普段より施錠され、立入制限されている本事業場6階屋上に立ち入り、当該場所より同事業場内駐車場に転落し、死亡したと思われる。管理者より当該場所に立ち入るよう指示があったという事実もなく、当方としては、可能な限り原因究明を行ったが、同災害の原因等は不明である。警察からも同様の報告を受けている。	28	10~ 29
3	17~18	大学4号館3階から荷物を持って階段を下りようとしたとき、靴が階段のすべり止めに引っ掛かり、足を踏み外し、4~5段下に滑り落ち、左足首を骨折した。	42	100 ~ 299
4	11~ 12	林業試験場敷地内の地下運苗室において、ハロゲンランプを吊り下げるための支柱（垂木）を天井の梁と梁の間に設置しようとして足場に乗りながら作業をしていたところ、誤って足場から転倒し、頭を打った。	63	50~ 99
4	7~8	駐車場にてバス出発準備作業中、園のグラウンドのフェンスを乗り越える時に誤って落下し骨折した。	67	10~ 29
4	21~ 22	閉館後、帰宅のため図書館敷地より退出した後に忘れ物に気付き、取りに戻るため通用口から中へ入った。照明が暗く階段を2~3段ふみ外し、前向けにコンクリートに転倒し、右手首と左足かかたとを骨折し、頭部前面と顔面を強打した。	67	10~ 29
		出社の際、屋上の駐車場に到着し勤務先教室に向かう為、社員用通路の階段を使		

4	8~9	用して4階から1階まで下る途中、1階と2階の間の踊り場から1段下りる時に誤って右足を踏み外して転倒し、13段転がり落ちて右肩・顔面・前歯・左すねに怪我をする。	29	1~9
5	9~10	左手に書類を持ち、階段を2階から1階へ降りる際に左足が引っ掛かり躓き、階段を踏み外して、階段の踊り場まで転落した。	43	300~499
5	17~18	実験棟において、30cm上昇させた4柱リフト上にて作業を行った後、工具箱に手をつき体を支えながら4柱リフトから降りようとした際、フリーホイールビーム（車両脱落防止用のバー）に右足を引っ掛けて転倒した。その際に左手をつき、親指付け根の骨を骨折した。	58	1000~9999
5	13~14	学校敷地内の生徒寮で、生垣剪定に脚立（三脚）を使用して作業をしていた。脚立不安定さに危険を感じ、一度降りようとしている途中で、目の前に切った枝葉が飛び出ていることに驚き、バランスを崩して落下した。両足で着地し、転倒せずに済んだが、着地の際、左足首に強い衝撃があり足首を負傷した。	66	50~99
5	15~16	庭の丸太の遊具の上で子どもと遊んでいる活動の時に、子どもの手が当たり、バランスを崩してお尻から転落して、地面に腰を打った。	60	1~9
6	10~11	校舎との境界にあるフェンス付近で脚立を伸ばし、その上で笹の葉や樹木の剪定をしていたところ、枝を切り落とそうと前方に身を乗り出した時にバランスを崩し、高さ1.8mの所から転落し、頸椎を骨折したものである。	66	1~9
6	16~17	偏波計アンテナの不具合調査作業中に、足場にのぼろうとした際に、昇降のために置かれている踏み台にのったところ、踏み台のバランスが崩れて落下し、踏み台に跨がるような形となり、右大腿部を裂傷し、腰・背中を打撲した。	55	30~49
7	16~17	終業後帰宅の際、2Fから1Fへ階段を下っていた際右足がパンツに引っかかり転倒した。（当時の服装はマキシ丈ガウチョパンツ姿であり右側パンツの裾に引っかった）	40	300~499
7	19~20	会社の車庫でトラックの荷台の製品の巻取をテコ棒を使用して練習していた時、製品と製品の間で足が挟まって左膝を負傷した。	60	50~99

7	17~18	自船の入港作業中、舟尾付けのため船尾甲板にタラップを用意し、岸壁から船尾が1m位の所でタラップを岸壁に掛けようとしたが潮が引いていて高さが合わなかった。甲板員に岸壁へ移ってもらうため、タラップの船側を押さえていたところ甲板員がタラップに乗った際、バランスを崩し、タラップが跳ね上がり、その反動で甲板に左肩を強打した。	66	30~ 49
7	16~17	カルテ整理のため棚上段にあるカルテを取ろうとしたが、棚の前には段ボール箱が積まれており、移動させることができなかった。脚立を置く場所がなかったため、止むを得ず段ボール箱の上ののって作業をしていたところ、バランスを崩してカルテを持ったままコンクリート床に転落し、腰、右臀部及び右肩を強打した。	30	500 ~ 999
7	10~ 11	幼稚園の園庭の梨の木の剪定作業をしている時、脚立約150cmに登って作業をしていた。作業を終え、脚立から降りる時、脚立足場高さ約120cmからバランスを崩し落ちた。腰から落ちた後、弾みで後頭部を打ちつけ出血する。	67	30~ 49
7	13~ 14	当事業所内の屋内馬場にて、馬の速歩練習をしていたとき、馬場の入り口付近を親子連れが通った際、何らかのはずみで馬が驚いて跳ねて躓き、人馬共に転倒して受傷した。	32	10~ 29
7	9~ 10	校舎とラグビーグラウンドの間にある外通路で、被災者が、除草を行う前の準備作業として、熊手を使用して蜂の巣の有無を確認していた際、誤って開口部より約5m下の地下駐車場に転落したと思われる。本業務は安全面を考慮して二名一組で作業を行うが、今回、被災者はペアを組んでいた者が道具（熊手）を取りに行っている間に、一人で同作業を行ったと思われるが、現認者はいない。	62	500 ~ 999
7	13~ 14	調査作業に従事している被災者が、足場材等の資材を運搬して移動中、斜面でバランスを崩し、前のめりの姿勢で滑り落ちた。その際、保身のため右手で支えようとしたが、木の切り株の角で負傷した。傷が深かったため救急搬送を依頼し、現地担当責任者もこれに同行した。診察の結果、右手・右前腕の挫傷で縫合手術と数日の入院治療となった。	74	100 ~ 299
		学校の夏季休業中に、校内の清掃作業を行っていた。校門に入ってすぐ左側の花壇の除草作業を行い、その場の除草を終え、花壇から約1m下の斜面を降りようと		

7	11～ 12	したときに足を滑らせ、尻もちをついて斜面を滑り落ち、花壇下のアスファルトに着地した際、左手をつき骨折した。なお、本校のスクールバス介助職員は、バスに関する業務が無いときには、掃除や遊具の補修等、構内の環境整備業務に従事することになっているが、その際に発生した災害である。	49	100 ～ 299
9	16～ 17	空き地の除草作業前に障害物を足で草を避けながら確認中、メヒシバに足を取られ、バランスを崩し段差（80cm+身長180cm）の下へ転落した。転落時に受身を取ろうとしたが、頭から転落。数分後立ち上がったが上半身に力が入らず背中に痛みがあった為、作業を中断し、自身で車を運転し病院へ行った。	63	30～ 49
9	9～ 10	施設内4階から3階へ階段を急いで降りていたところ、足を踏み外して7段程落下踊り場に落ち、骨折した。	65	100 ～ 299
9	21～ 22	校内の夜間見回り中、クラブハウス2階一室のドアノブ破損により、内部に閉じ込められ、窓より脱出を試みるもバランスをくずし落下し骨折した。	72	1～9
9	13～ 14	パソコン室横の緩やかな傾斜地の草抜きをしていた際、誤って1mほど下にある溝に落ち、右手首をひねり、左足を強打した。	69	1～9
10	16～ 17	敷地内植木剪定作業中、約2.5mの高さで足を滑らせ落下、右肩・背中を強打。	69	10～ 29
10	14～ 15	トラック荷台上で、実験用航空機の給油準備として燃料が入ったドラム缶の位置を変更していた。ドラム缶の縁に指をかけて引っ張ったところ指が滑ったため体勢を崩し、2～3歩よろめき、荷台から飛び降りた後、さらに2～3歩よろめいたが踏みとどまらず肩から転倒した。なお、荷台後部のゲートは地面まで下げてあった。	44	300 ～ 499
10	13～ 14	遺跡発掘作業現場にて、文化財発掘作業のため、作業区に脚立を使用し降りる時、バランスを崩し、脚立の下から2段目付近から後ろに転倒した。	75	30～ 49
10	9～ 10	施設内のゴミを処分するため、缶・ビンの収集所へ向かっていたところ、途中の段差で足を滑らせ80cm下の地面へ転落し、右肩を脱臼した。	65	10～ 29
		作業現場であるグループホーム内食堂にて、脚立を使用して天井面へ器具付けを		

11	13~ 14	行った。移動の為に脚立から降りて歩き出した際に、右膝に強い痛みを感じた。強い痛みはすぐに治まり、軽い痛みは残っていたが歩行等にも支障がなかったため、しばらくすれば治ると思い様子を見ていた。しかし、一向に治らなかったため受診したところ、右膝前十字靭帯損傷及び右膝半月板損傷と診断された。	25	10~ 29
11	11~ 12	校舎3階の算数少人数の教室で、教室後方の掲示板に反比例のグラフ（約縦80cm、横60cm）を、児童用ロッカーに乗って張ったが、降りる際に、踏み台にしていた児童用机から足を踏み外し、ロッカーから約1m下に転落した。床に右手をついて落下した際に右手首を骨折した。	60	10~ 29
11	13~ 14	体育館入口の清掃を児童と行っていた際に、砂を集めた塵取りを持って三段下の土の上に捨てるため、階段を下りていたところ、1年生の女子児童が後ろ手に持っていたほうきの柄に右足は跨げたが、左足が引っ掛かり転倒した。そのまま階段を三段転げ落ち、左足を骨折した。	59	30~ 49
11	11~ 12	フェンスから東側の道路にはみ出している樹木の剪定をするため、二つ折りの脚立を真っ直ぐに伸ばし、固定金具（2ヶ所）を確実に止め、傾斜角70度のコンクリートの壁に立て掛けるようにして作業を行っていた時に、最後に残った部分を取り除こうとした際に、脚立がバネのように上に弾み立て掛けていた場所より後方に移動し、脚立とともに真下の路上（アスファルト）に落下したものである。	60	30~ 49
12	10~11	校舎玄関前スクールバス停車スペースにおいて、スタッドレスタイヤ装着のためタイヤを運搬中、軽トラックからスタッドレスタイヤを降ろす作業中にタイヤの重さからバランスを崩し、軽トラックの荷台から落下し負傷したものである。	67	100 ~ 299
12	9~10	建物内3階階段で、隣の建物にある郵便箱に書類を提出するのに、回収時間間近だったことから急いでいた。下から人が上がってくる音がしたので、手すりから離れ反対側に移動しようとした際、ブーツの踵が階段のへりにひっかかり転んでしまい、すぐ下の踊り場まで10段くらい落ちた。救急車で搬送され、病院の検査で頭部、骨に異常はなく、腰に歩行保護用のコルセットを装着してもらい帰宅した。しばらくは痛みのため起き上がることができず、自宅で安静にしていたが、休み明けも痛みが引かず休業した。	55	1000 ~ 9999
		勤務終了後、スタッフ駐車場に向かう途中、会員駐車場とスタッフ駐車場にある		

12	21~22	段差のフロア台を傘で確認してから降りようとしたところ、フロア台を踏み外して落下した。	69	1~9
12	10~11	事務室において、年末清掃で書籍棚の天板に上がって窓拭きを行ったあと、足場にしていた椅子に下りようとしたところ、バランスを崩して約1m下に転落し、右手首付近を強打した。骨折の恐れがあるため救急車にて病院へ搬送され、診断の結果、右手首を骨折しており、手術を行った。	63	1~9
12	14~15	養豚外周フェンスのカズラ撤去作業中に、フェンス上部に登ってノコギリで枝の切り落としをしていたとき、持っていた枝が不意に折れたためバランスを崩し、有刺鉄線を越えてフェンス外側傾斜地に落下し、腰を強打した。	62	10~29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html